

経営比較分析表（令和5年度決算）

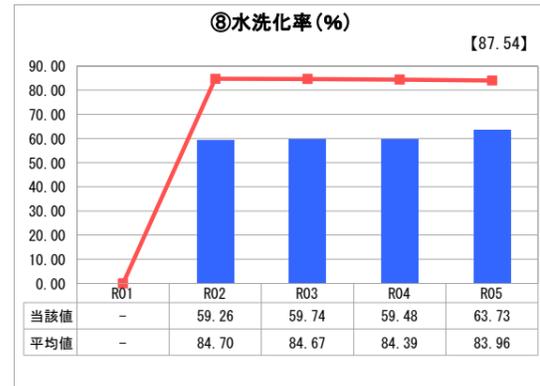
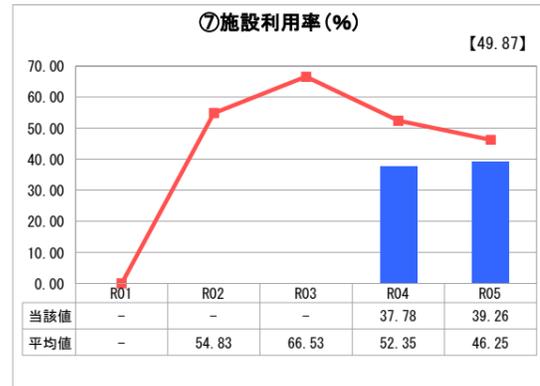
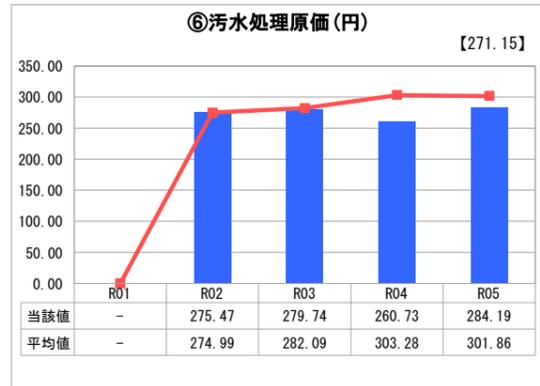
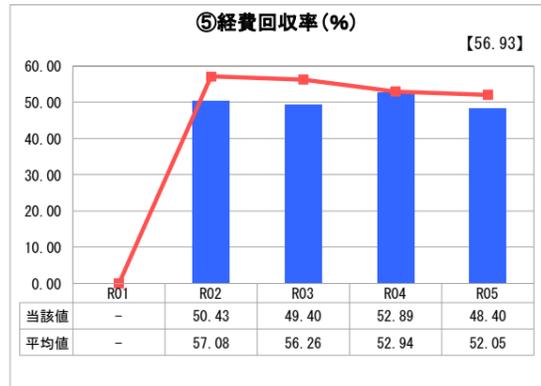
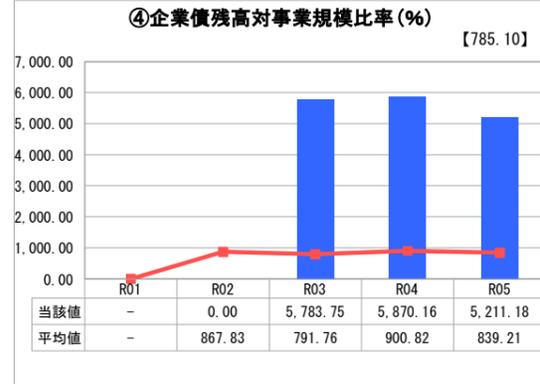
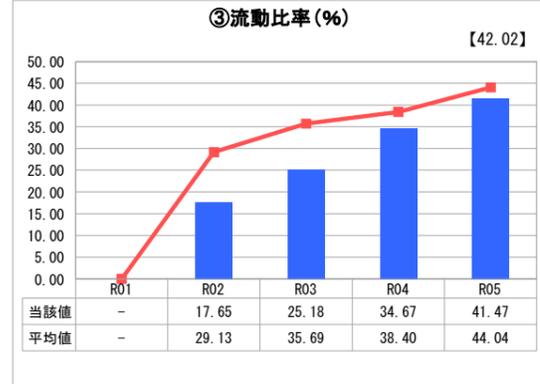
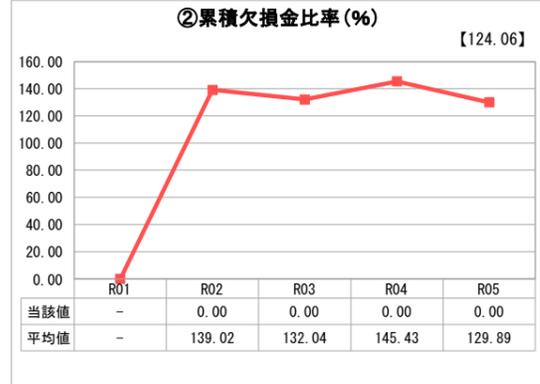
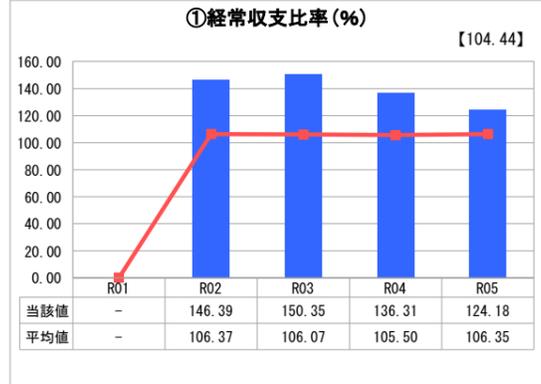
福島県 相馬市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	6.68	0.94	75.42	2,860

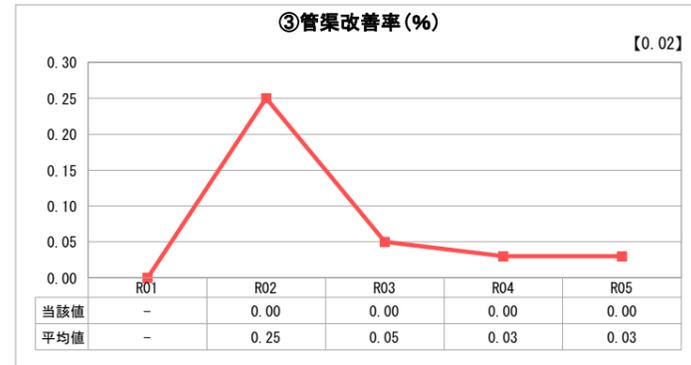
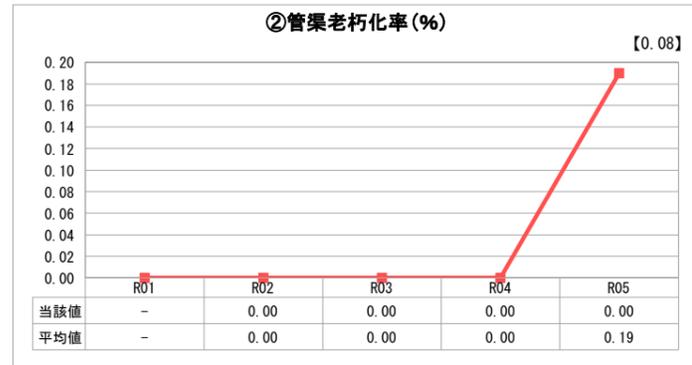
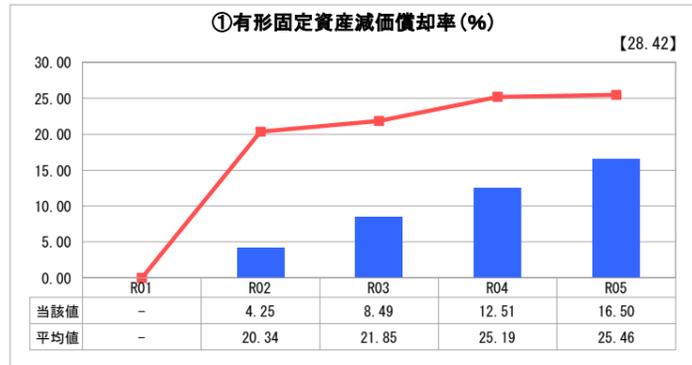
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
32,842	554.63	59.21
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
306	1.10	278.18

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和2年度から地方公営企業法の財務適用を行った。
 ① 経常収支比率
 前年度に引き続き100%を超えており、類似団体平均を上回っている。
 ② 流動比率
 年々上昇しているが、類似団体平均を若干下回っており、引き続き支払い能力を高めるための経営改善を行っていく必要がある。
 ③ 企業債残高対事業規模比率
 依然として高水準であるため、今後使用料の見直しや維持更新費用の平準化等を図る必要がある。
 ④ 経費回収率
 前年度より微減しており、類似団体平均を下回っているため、今後も汚水処理費のさらなる削減等に努める必要がある。
 ⑤ 汚水処理原価
 前年度より増加しているものの、類似団体平均を下回っているが、今後も現状分析を行い、維持管理費の削減等に努める必要がある。
 ⑥ 水洗化率
 わずかではあるが、前年度より増加はしているものの、類似団体平均を下回っているため、引き続き水洗化率向上への取組を行う必要がある。

2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率
 類似団体平均を下回っているが、供用開始から20年を経過している管渠施設もあり、今後ますます老朽化が進むと思われるため、引き続き合理的な修繕更新を進めていく予定である。

全体総括

農業集落排水地区は、東日本大震災により事業地域の大部分が被災したことにより、必要な費用を使用料収入で賄うことは難しい状況であるが、今後は使用料の見直しの検討を進めるとともに、汚水処理費の削減に努めるなど、経営の効率化が求められる。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。